

生活保護改悪案 高橋議員が追及

申請書類提出義務づけけるな

「水際作戦の合法化」ではないか」。29日の衆院厚生労働委員会で生活保護法改悪案の撤回を求めた日本共産党の高橋ちづ子議員。最後のセーフティーネットである



「水際作戦」の合法化になる

生活保護から国民を締め出す重大な問題点が浮き彫りになりました。

法の基本理念 変えぬと答弁

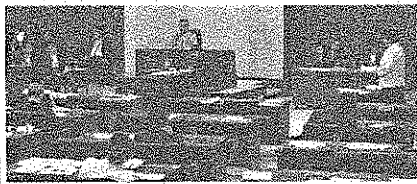
高橋氏は憲法25条(生存権)に基づいた生活保護法の基本理念は変わっていないのかと確認。田村憲久厚労相は「憲法の権利を具現化するセーフ

した。

「水際作戦」の合法化になる。ところが法案では、これまで生存権を守る立場から口頭でも申請を受け付けていたのを、申請書や内容を証明する書類の提出を義務付けます。高橋氏は、今でも申請にま

た。誰にでも受ける権利はある(無差別平等)、個々の事情を顧みず機械的な対応をしない(必要即応)という生活保護の大原則についても、榎屋敬悟厚労副大臣は「何ら変わらない」と答弁しました。

質問する高橋ちづ子議員(右端)＝29日、衆院厚生労働委



高橋 書類がそろわないと保護は受け付けないのか。

村木厚子社会援護局長 実際の運用を変えろわないと受け付けない。

「水際作戦」が横行していることを挙げ、「これは水際作戦の合法化ではないか」と追及。田村厚労相は「それは不適切なものだ」とし、収入など

いものではない。高橋 変わらないのなら、書かなければいい。法律に書いたわけだから義務になる。高橋氏は、福岡県北九州市の餓死事件では、申請を締め付ける「水際作戦」が判決(09年)で断罪されたことを指摘。いまでも「水際作戦」が横行していることを盛り込んでいます。村木局長は、「必ず扶養できる人に限って行う

年	栄養失調 (A)	食糧の不足 (B)	計 (A+B)
2000	1227	87	1314
01	1252	63	1315
02	1287	67	1354
03	1338	93	1431
04	1385	68	1453
05	1670	77	1747
06	1520	56	1576
07	1604	44	1648
08	1684	63	1747
09	1598	58	1656
10	1666	36	1702
11	1701	45	1746

高橋ちづ子議員事務所作成 出版：国会図書館社会労働部が厚労省人口動態調査をもとに作成

の調査についても、「本人同意がない場合は適当でない」と答えました。高橋 現場ではかなりのことやられてい

田村厚労相は、「心配の点は各自治体に通知し、ご懸念のない形ですめる」と答弁。高橋氏は、国内の餓死者(栄養失調と食糧不足による死者の合計)が2000年の1314人から11年の1746人に増加していると指摘(表)し、「これほどの経済大国・日本で餓死者がこれだけいるということは非常に重大だ」と強調しました。

高橋 国会で取り上げられてから、申請をためらうケースが増えるなど、すでに「アナウンス効果」が抜群に発揮されている。高橋氏は、札幌市の女性にニュースを興て「簡単に受給できないだろう」と考えて母親と心中を図った例を紹介し、申請の締め付けになるとただ